

東大硬式野球部創部100周年記念

日本の学生野球の原点・一高野球部からたどる

東大野球部の歴史展

HISTORY OF THE BASEBALL CLUB, THE UNIVERSITY OF TOKYO

主催：東京大学大学院総合文化研究科・教養学部 駒場博物館

共催：東京大学運動会硬式野球部、一誠会（東京大学野球部OB会）

後援：目黒区教育委員会、東大駒場友の会

協力：(一財)東京六大学野球連盟、(公財)野球殿堂博物館、(株)日刊スポーツ新聞社、(株)ベースボール・マガジン社

当博物館では、廃校から70年になるとうする第一高等学校の貴重な資料を保管しています。一高は、全国から旧制中学の学生が挑んできた難関であり続けました。学業だけではなく芸術や海外から流入して間もないスポーツについても、全国に先駆けて研究、鍛練してきました。その最たる例が今も国民的スポーツとして君臨する野球で、アメリカから輸入されたばかりのベースボールに野球という訳語をつけたのも一高野球部OBです。

一高野球部は他の運動部とともに三高ほかの学校と対校戦を重ねて世間の耳目を集めていましたが、学制改革に伴って対校戦とともに終焉のときを迎えました。一高が三高、慶應、早稲田、学習院をすべて倒したのは1918年で、この立役者内村祐之が翌年東大に進学、東大に野球部創設の動きが一気に進み、同年野球部が誕生しました。今年創部百周年を祝うことになります。

東京六大学野球連盟に最後に加盟した東大の戦績は苦しいものでしたが、それでも選手は加盟したときの心意気を忘れず、優勝を目指して日々精進してきました。

このたび東大の創部百周年を機にふたつの野球部の足跡を展示します。当博物館で運動部の特別展示は初めての試みです。学生野球の礎として武士道野球を標榜してきた一高、最高レベルの連盟の中で苦闘を続けてきた東大の両野球部をご鑑賞ください。

お問い合わせ先：

東京大学駒場博物館

153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

Tel：03-5454-6139 Fax：03-5454-4929

<http://museum.c.u-tokyo.ac.jp>

